

# 男女共同参画社会の実現に向けた普及指導活動の推進

～ 農業者への調査結果から ～

杉原雅人（農業総合試験場企画普及部広域指導室）

【平成29年5月15日掲載】

## 【要約】

男女共同参画による活力ある地域社会の形成に向けた普及指導活動の取組のポイントを検討するため、県内農業者に対して、実情や意識等についてのアンケートを実施した。その結果、女性農業者の経営参画と社会参画の促進のためには、家事や育児の役割分担、家族の理解と協力が重要であった。また、女性が身につけたい技術・知識として、農業技術や農業経営の知識を習得したいとの回答が多かった。調査結果から、家族経営協定の締結等により、女性が農業経営や地域で働きやすい環境づくりの支援が必要と考えられた。また、女性農業者向けセミナー等の学びの場や交流の場の設定、キャリア形成に向けた目標設定などの支援を積極的に推進していくことが重要である。

## 1 はじめに

本県では、農林水産業の発展を目指し、男女が共に生き生きと活動できる地域社会づくりを進めるため、「あいち農山漁村男女共同参画プラン2020」を平成28年に策定した。プランを推進するためには、男女が対等なパートナーとして、それぞれの能力を一層発揮できる農業経営や地域社会の実現に向けた取組推進が必要となっている。

そこで、県内の農業者を対象に、経営参画及び社会参画等の男女共同参画に関する実情、意識、課題等についての調査を実施し、農業者の実情等を反映させた普及指導活動の取組のポイントを検討した。

## 2 調査の概要

(1) 調査期間：平成28年6～11月

(2) 調査方法：農業改良普及課が主催する研修会等の参加者に対してアンケートを実施

(3) 調査回答者の概要

- ・回答者数：県内の農業者389人（男性179人（46.0%）、女性210人（54.0%））
- ・経営内容別割合：花き24%、施設野菜17%、露地野菜17%、水田作15%、果樹12%、畜産11%、その他4%
- ・年齢別割合：20歳台以下13%、30歳台21%、40歳台19%、50歳台21%、60歳台20%、70歳台6%

## 3 調査結果の概要

(1) 女性農業者の経営参画について

ア 農業経営における経営参画の状況（経営方針の決定への関わり）

年代別の経営参画状況において、20歳台では、「経営主である」及び「経営主とともに経営方針の決定に関わっている」と回答した割合が、男性では84.4%であったのに対し、女性では22.2%と低かった。また、30歳台以上においても、「経営方針の決定

に関わっていない」と回答した割合が、女性では30～40歳台で40%以上、50～60歳台でも15%以上あり、すべての年代において、女性は男性より農業経営への参画が少なかった（図1）。

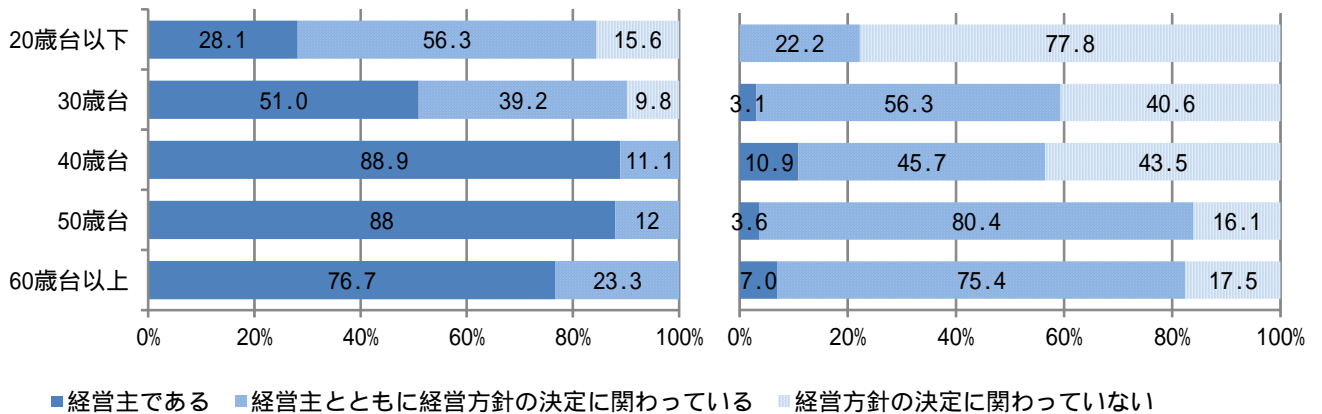


図1 年代別の経営参画状況（左：男性、右：女性）

イ 農業経営において担っている主な役割（複数回答）

男性・女性ともに「農作業」が最も多かった。女性は、「簿記の記帳」、「出荷調製」、「直売」、「被雇用者の管理」の順に多かった。男性に比べ、女性が高かった項目は、「簿記の記帳」、「直売」、「被雇用者の管理」、「農産加工品の製造・販売」であった（図2）。

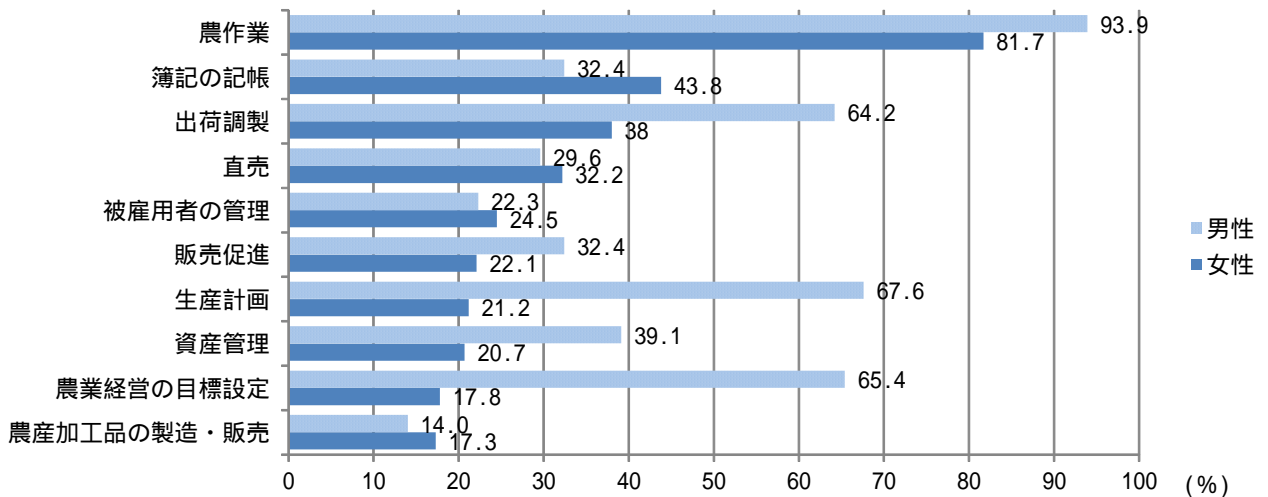


図2 農業経営において担っている主な役割（女性で多い10項目）

ウ 男性からみて女性に身につけて欲しい技術・知識、女性が身につけたい技術・知識（複数回答）

男性からみて女性に身につけて欲しい技術・知識の回答割合は、「簿記の記帳」、「企画・商品開発」、「広告、宣伝、PR活動」、「消費者ニーズの把握方法」の順に多かった（図3）。

女性が身につけたい技術・知識の回答割合は、「栽培・飼養管理技術」、「消費者ニーズの把握方法」、「経営分析」、「簿記の記帳」の順に多かった（図4）。

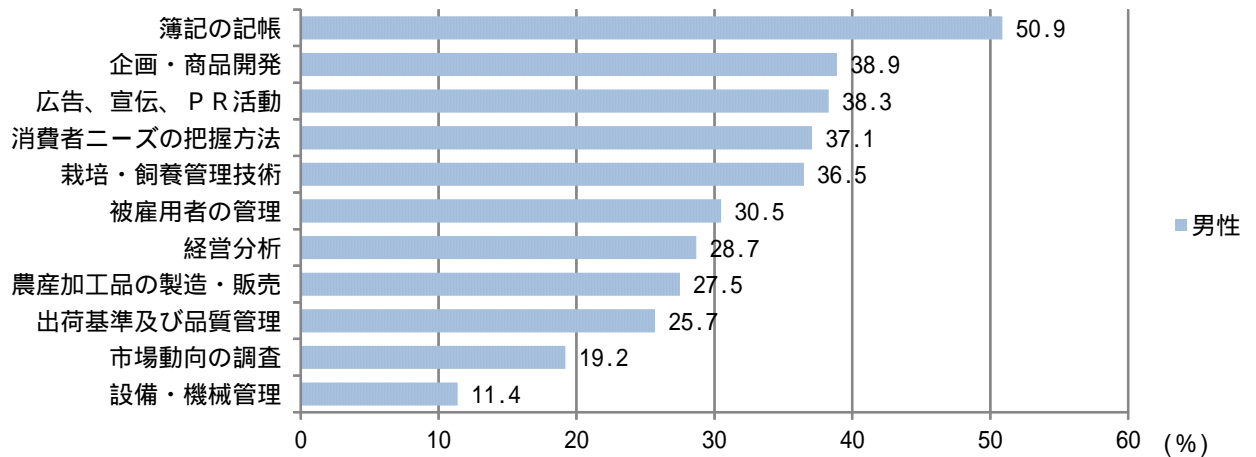


図3 男性からみて女性に身につけて欲しい技術・知識（男性）

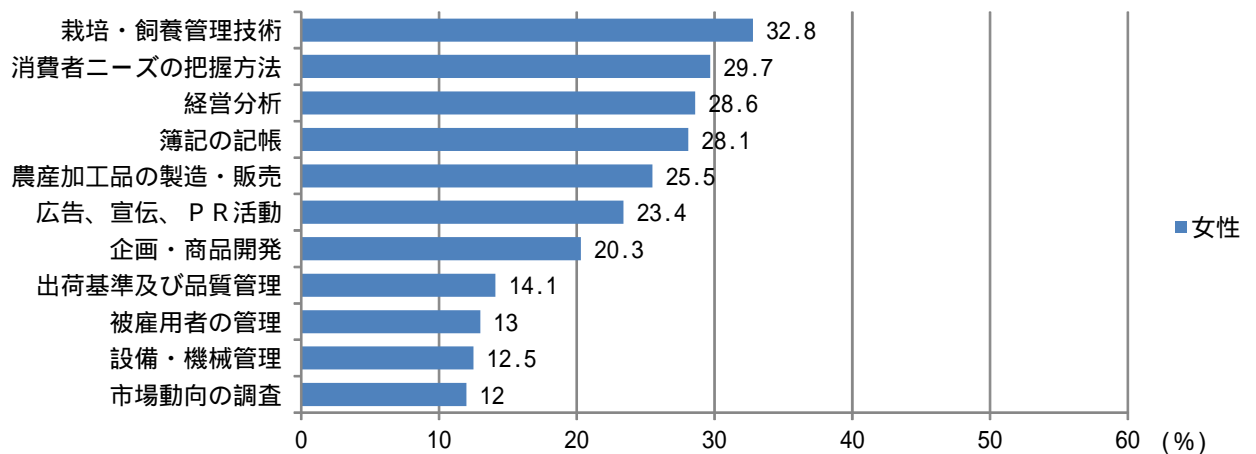


図4 女性が身につけたい技術・知識（女性）

### エ 女性の経営参画に必要な条件整備・支援（複数回答）

男性・女性ともに「家事・育児・介護等の負担軽減」、「家族の理解・協力」、「女性農業者同士の交流」、「女性へのやる気啓発」の順に回答割合が高かった（図5）。

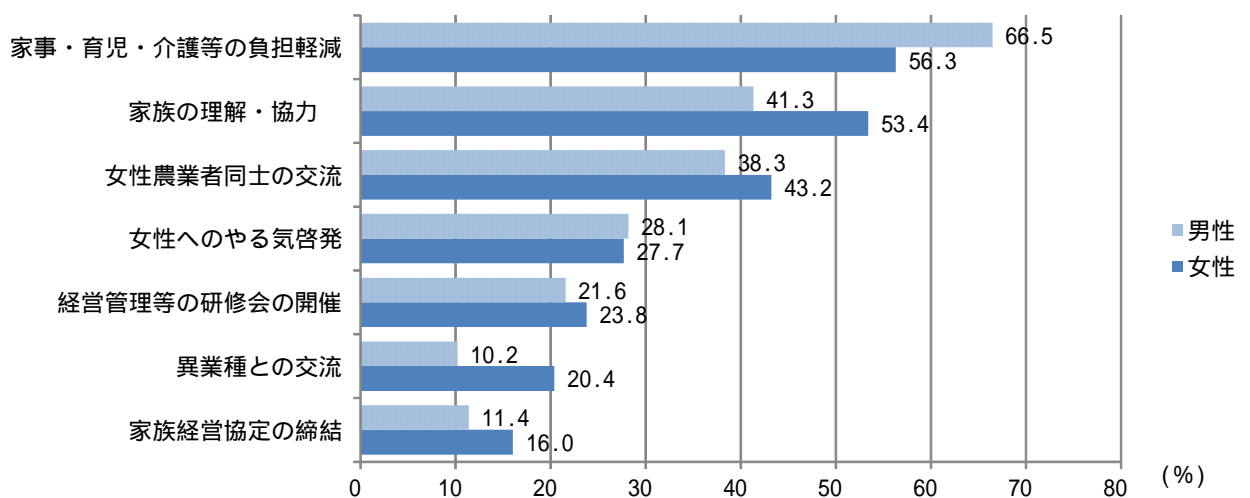


図5 女性の経営参画に必要な条件整備（男性・女性）

## (2) 女性農業者の社会参画について

### ア 政策・方針決定の場（農業委員・農協役員・審議会委員等）への参画意志

男性・女性計は、「積極的に受ける」の回答割合が全体の10.6%であった。「できれば受けたくない」の回答割合が45.6%と最も高かった。女性の社会参画に対する意欲は、男性よりもやや低かった（図6）。

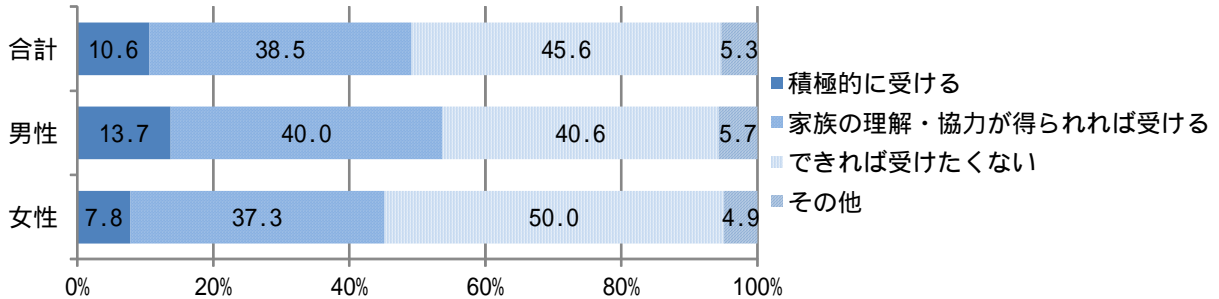


図6 政策・方針決定の場への参画意志（男性・女性）

### イ 女性の社会参画に必要な条件整備・支援（複数回答）

男性・女性ともに「家族の理解・協力（ワーク・ライフ・バランスの推進、家事や育児の役割分担など）」の回答割合が最も高かった。次いで、女性では「古いしきたりや慣習の改善」、「研修等を通じた情報提供、意識啓発」の順で高かった（図7）。

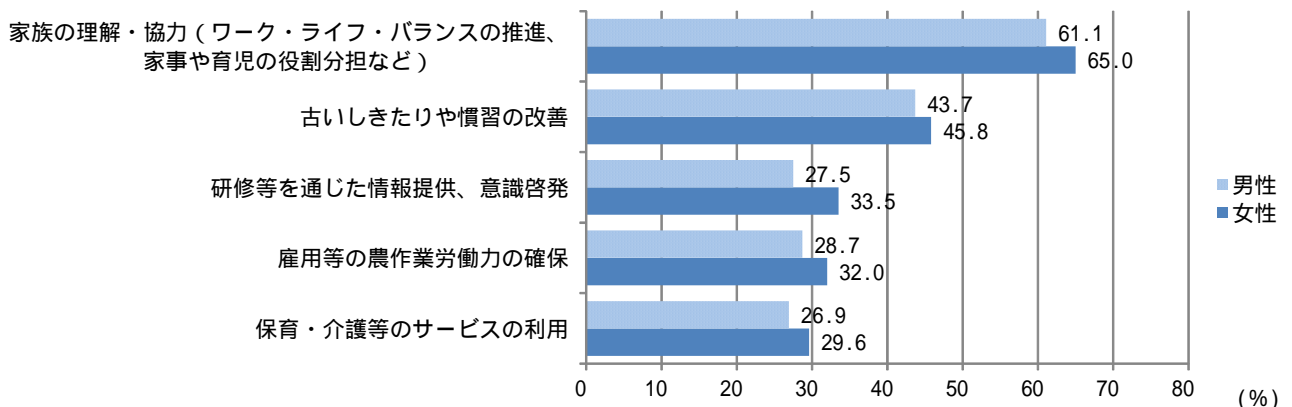


図7 女性の社会参画に必要な条件整備・支援（男性・女性）

## 4 調査結果のまとめ

すべての年代において、女性は男性より農業経営への参画が少なく、若手女性農業者とされる40歳台ぐらいまでについては、経営方針の決定に関わっていない割合が4割以上であった。

農業経営の中で女性が多く担っている役割は、「簿記の記帳」、「直売」、「被雇用者の管理」、「農産加工品の製造・販売」であり、女性の持つきめ細やかさや消費者目線の考え方など、個性や能力が生かせる部門で活躍していることが明らかになった。

女性が身につけたい技術・知識では、「栽培・飼養管理技術」、「消費者ニーズの把握方法」、「経営分析」、「簿記の記帳」の回答が多く、知識習得の機会を必要としていることがわかった。

女性農業者の経営参画と社会参画の促進に必要な条件整備・支援については、いずれの

取組においても、「家事や育児の役割分担」、「家族の理解と協力」が重要であった。

また、女性農業者の経営参画においては「女性農業者同士の交流」、社会参画においては「研修等を通じた情報提供、意識啓発」なども、条件整備・支援が必要であることがわかった。

## 5 男女共同参画の促進に向けた普及指導活動の取組のポイント

調査結果において、現状として女性は農業経営や地域の中で、個性や能力が生かせる部門で活躍しているものの、参画がまだまだ少なかった。さらなる経営参画及び社会参画のため、男女共同参画の促進に向けた普及指導活動の取組のポイントを整理した。

- ・ 経営参画に必要な条件整備・支援は、「家事や育児の役割分担」や「家族の理解や協力」であることから、家族経営協定による家族の理解促進や役割分担の明確化が有効と考える。家族経営協定の締結を進め、家族間の話し合いの場を作り、ワーク・ライフ・バランスに配慮し、かつ、女性の発想、経験が生かせる役割分担を推進していくことが重要である。
- ・ 女性が身につけたい技術・知識として、「栽培・飼養管理技術」、「経営分析」などがあげられていたことから、若手女性農業者（40歳台ぐらいまで）を中心とした農業技術・農業経営に関するセミナーの開催が重要と考える。セミナー等で学ぶ機会の充実を図るとともに、キャリア形成に向けた目標設定や自己研鑽計画の明確化等により、能力・技術の向上と意欲を高める支援を積極的に推進していくことが重要である。
- ・ 女性農業者の産地部会への参加を誘導したり、若手女性農業者のネットワーク化を推進することで、情報を得やすい環境を作ることが必要である。
- ・ 社会参画においては、研修等を通じた情報提供や女性農業者への意識啓発により、地域社会においても女性農業者が能力を発揮できるよう推進する必要がある。

本県では、これらの取組のポイントを普及指導活動に取り入れ、女性農業者の経営参画と社会参画の推進を支援していく。